



# 第19回 南澪会合唱団 演奏会

ドーンセンター ホール

2014年11月29日(土)

開場／午後1時15分 開演／午後2時

南澪会合唱団



## プログラム



南瀬会合唱団演奏会 於ドーンセンターホール 2012.12.9

## ごきげんよう

本日は、お忙しい中ご来場いただきまして厚くお礼申し上げます。

二年ぶりのお目もじですね。

さて、この二年のトピックスと言えば、何と言っても「アベノミックス」ということになりましょうか。慌ただしい時が続いてきました。ちょっと落ち着いて、皆でじっくり考え、少しずつでも前進する道筋がつけられる時間があるのも良いかと思います。

ところで、気になることがもう一つあります。異常気象のことです。昨年の猛暑、今年の冷夏。この落差は一体何なんでしょうか。温暖化が言われて久しいですが、このところ特に自然が牙を剥いている感があります。疾風怒濤(シユトラムウントランク)という文学用語がありますが、この言葉も今を表すのにぴったりかもしれません。自然現象を表すこの言葉は、文学用語としては、新しい時代を切り開く意味で使われます。今こそ、現在の異常気象を皆の英知で乗り越える手立てを見つけ出し、新しい時代を切り開きたいものです。今日歌う「シーシャンティ」は、こうした疾風怒濤を乗り越えて、果てしない海原を航海する男達のロマンを歌い上げたものです。今の状況も考えながら上手く歌いきれるか耳を傾けてください。

南瀬会合唱団 団長 尾崎 納

## Stage 1

指揮 宮内 泰

司会 白石公子

## Sea Chantey(船乗りの歌)

1. Sailing! Sailing!
2. A-Roving(Sea Chantey)
3. Shenandoah(Traditional Chantey)
4. Leave Her Jonny
5. The Boston Come-All-Ye

## Stage 2

指揮 山田 稔

ピアノ 石幸千照

編曲 三沢治美

## 男声合唱のためのヒットメドレー「HANA」

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 1. 花         | 竹嶋羽衣/滝廉太郎        |
| 2. サボテンの花    | 財津和夫             |
| 3. さくら(独唱)   | 森山直太朗・御徒町凪/森山直太朗 |
| 4. ハナミズキ     | 一青窈/マシコタツロウ      |
| 5. リンゴ追分     | 小沢不二夫/米山正夫       |
| 6. 世界に一つだけの花 | 横原敬之             |
| 7. 赤いスイートピー  | 松本隆/呉田輕穂         |
| 8. 花         | 喜納昌吉             |

## —Intermission—

## Stage 3

指揮 山田 稔

ピアノ 石幸千照

作詞 高野喜久雄

作曲 高田三郎

編曲 須賀敬一

## 男声合唱曲「わたしの願い」

1. いまわたしがほしいのは
2. 雲雀にかわれ

## Sea Chanteyについて

「シャンティー」はその昔、帆船によって交易が行われていた時代に、快速船、武装商船、漁船それに海岸貿易船などに乗り組んだ男達によって歌われた船乗りの歌である。旋律は歌いやすく忘れ難い、繰り返しのあるものなら何でも取り入れられた。古い昔の旋律やアイルランド舞曲、それにイギリス民謡等々である。

その起源は15世紀まで遡ることができるが、労働歌として盛んに歌われたのは、1820年頃からのほぼ100年間で、蒸気船が主役となった1920年頃には衰退した。また19世紀以前のものの大半はイギリス起源のもので、それ以降のものの大半はアメリカ起源のものである。

## 1. Sailing! Sailing!

出航や往路に歌われるシャンティー。

「出航だ、出航だ。波打つ大海原を乗り越えて、嵐のような風が吹こうとも、それでも船乗りは故郷にまた帰ってくるのさ。」

## 2. A-Roving(Sea chantey)

アムステルダムといえば「飾り窓の女」・船乗りが口説きそこなった話を一杯やりながら仲間に話す情景である。

## 3. Shenandoah(Traditional Chantey)

この歌は、アメリカ東部に強制移住させられたNative Americanの望郷の歌とする説もあるが、ここで歌う歌詞は、ミシシッピ川の上流のミズリー川を航行する舟人がはるか上流のシェナンドーの谷間を懐かしむ歌である。

## 4. Leave Her Jonny

このシャンティは、ハリヤード(帆の上げ下ろしの綱引きなど)やポンピング(船底に溜まる水のくみ上げ)の作業で歌われるシャンティに属し、航海の終わりに歌われるものである。他のシャンティと同じく音頭取り(シャンティーマン)が一節を歌うと全員がコーラスを歌い、長丁場の作業の息を合せるものである。

## 5. The Boston Come-All-Ye

「The Boston」は地名ではなく、一種のワルツでアメリカの3拍子のダンス曲。このシャンティーはアメリカ漁船(捕鯨船など)のシャンティーで、船が航海中の船上での様々な作業の際に歌われる種類の歌である。whale(鯨)やmackerel(鯖)などが歌詞に登場する。

## 男声合唱曲「わたしの願い」

高野喜久雄 作詞  
高田三郎 作曲  
須賀敬一 編曲

作曲者の高田三郎氏(1913年~2000年)は、武蔵野音楽学校(現在の武蔵野音楽大学)を経て東京音楽学校(現在の東京芸術大学)で作曲・指揮を学びました。

卒業後、管弦楽曲・独奏曲・声楽曲を作曲するとともに指揮活動を行ってきました。1950年代より合唱曲の作曲に力を注ぎ、特に詩人の高野喜久雄氏(1927年~2006年)に会ってから、「わたしの願い」・「水のいのち」・「心の四季」・「ひたすらな道」・「内なる遠さ」等の合唱曲を作曲しました。

また、クリスチャンでもあった高田氏は典礼憲章に基づき、数多くの典礼聖歌を作曲しています。

指揮者としては、放送などの活動の後、自作の曲のみの指揮をするようになり、最晩年まで作曲・指揮活動を続けました。今回の演奏曲「わたしの願い」はNHKからの委託作品で、1961年、東京混声合唱団(指揮:田中信昭氏)によって放送初演されました。男声合

唱版は、1996年、早稲田大学グリークラブのために須賀敬一氏が編曲し、同年の定期演奏会で演奏されました。

「いま わたしがほしいのは」・「雲雀にかわれ」の2曲で構成されるこの合唱曲は高田作品の名曲であり、高度な演奏テクニックも要求され、練習での苦しみは忘れることができません。

詩の最後の「まことに 高きものの名を 呼びかわしつつ ひた舞い上がる 雲雀にかわれ」の部分を高田氏は宏大なFUGA(フーガ)で表現しています。

私達は全力で演奏します。どうぞお聴きください。

最後に「詩人の言葉」(高野喜久雄氏)をご紹介します。

『私の心を深くとらえたものは「あなた」と呼ばれる狂った友人の祈りのような言葉でした。何時も「何故か」と問うことをしなかった友、物事をただそのまま受け容れる余りにも純粋で無垢な心のために、とうとう美しく狂ってしまったこの友の前に立つときには、はじめて私は「わたしの願い」が何であるべきかを知らされたのです。』

## HANA

明治時代、日本に西洋音楽が導入され、それ以降、多くの新しい歌が生まれました。今回私たちは日本のPOPS史上、時代や世代を超えた名曲の中から「花」にまつわる曲のメドレー「男声合唱のためのヒットメドレーHANA」を演奏します。小学校時代に歌った滝廉太郎作曲の「花」、美空ひばりが歌っていた米山正夫作曲の「りんご追分」、昭和のヒット曲、財津和夫作曲の「サボテンの花」、呉田軽穂作曲の「赤いスイートピー」、そして平成の現在、多くの人に愛されている森山直太朗作曲の「さくら(独唱)」、マシコタツロウ作曲の「ハナミズキ」、横原敬之作曲の「世界にひとつだけの花」、喜納昌吉作曲の「花」の8曲を男声合唱で歌います。

編曲者の三沢治美さんは、国立音楽大学で作曲・ピアノ・声楽・指揮・編曲を学び、卒業後2003年に今回の演奏曲「男声合唱のためのヒットメドレー HANA」を編曲し、2004年4月に創価学会しなの合唱団により初演されました。女性らしい繊細にして、軽快でおしゃれな編曲です。今回私達が歌う曲は、聴衆の皆様がテレ

ビ・ラジオその他で何度も聞かれている曲ばかりだと思います。高齢者の私達がこれらの曲をうまく歌えるか、不安も少しさりますが、新たな挑戦です。超熟年世代が歌う「日本のPOPSの世界」をお楽しみいただけます。

では、平成の名曲の歌詞を一部ご紹介します。

## 「さくら(独唱)」

ぼくらはきっと待ってる  
君とまた会える日々を  
桜並木のみちの上で  
手を振り叫ぶよ

どんなに苦しい時にも  
君は笑っているから  
くじけそうになりかけても  
頑張れる気がしたよ

## プロフィール

## Profile

## 指揮者 山田 稔(やまだ みのる)

大阪府立桜塚高校音楽部指揮者を経て、大阪市立大学グリークラブ学生指揮者。昭和43年法学部卒業。卒業後は、豊中混声合唱団、阪急東宝グループ男声合唱団で、指揮・合唱活動。平成18年から南瀧会合唱団指揮者。大中恩、磯部値、高田三郎など、詩情あふれる合唱音楽を愛す。好きな言葉は「心で歌う」。尊敬する指揮者は須賀敬一氏。



## 指揮者 宮内 泰(みやうち やすし)

1976年3月大阪市立大学理学部化学科卒業。在学中、グリークラブに在籍、セカンドテノール。学生指揮者を歴任。1976年より松原市で中学校の理科教諭として赴任。吹奏楽部の指導に当たる。2013年より南瀧会合唱団に入団、指揮者となる。



## ピアニスト 石幸千照(いしこうちあき)

大阪芸術大学演奏学科を学費全額免除生として卒業。同大学芸術専攻科修了。演奏学科研究室賞受賞。卒業演奏会、関西新人演奏会。これまでに、岡坂恭子、U.シュニーベルガーの各氏に師事。関西フィルハーモニー交響楽団、ロシアにてロシア国立アカデミーオーケストラと協演。大阪芸術大学伴奏要員を経て、現在、関西女子短期大学非常勤講師、ママハ音楽教室講師、合唱団6団体のピアニストを務める。全日本ピアノ指導者協会会員。



## 出演メンバー

### 第1テノール

尾崎 納 白神 理平  
福野 成雄 平松 朋記  
(向陽)

### 第2テノール

今村 肇 大内 一 白井 清貴  
宮内 泰 村山 徹郎 山田 稔  
(清風)

### バリトン

石井 欽三 石原 潤一 太田 一忠  
服部 榮治 松田 桂一郎 山内 莊作  
(清風)

### バス

赤崎 弘平 今道 隆夫 扇田 豊  
森田 清 安井 永 小倉 裕  
和田 昭夫 稲田 智史  
(高楓)

## Member



## 南澪会合唱団で歌おう!

メンバーは40歳代から80歳以上の若者まで、約40名。  
みんなで歌って、身も心も元気そのもの!

### どんな合唱団ですか?

70年前に大阪市立大学グリークラブ(男声合唱団)のOBが始めた合唱団ですが、現在ではOBでなくとも、どなたでも参加できる一般団体として活動しています。

●南澪会(なんれいかい)の名前=大阪市立大学が、澪(みおつくし)を市章とする大阪市の最南端に位置するところに由来しています。



### これからの演奏会予定は?

●第35回ANCORの会演奏会(5つの大学OB男声合唱団)  
2015年5月6日(祝)午後2時30分開演  
兵庫県立芸術文化センター大ホール

### 見学・入団をするには?

●小倉(幹事長) 075-601-1765  
尾崎(団長) 0742-47-7554  
までご連絡ください。

## 運営・技術スタッフ

## Staff

団長	尾崎 納
幹事長	小倉 裕
会計監査	今道 隆夫
運営幹事	月川 兆・新栄一郎
総務	和田昭夫・名和秀記
渉外	安井 永
リクルート	福家 伸治
会計	樂譜・音源
パート委員	赤崎 弘平
T1	月川 兆
T2	村山 徹郎
B1	石原 潤一
B2	牟田 岷男
相談役	米田 直也
定期演奏会実行委員	新栄一郎(委員長)・福家伸治・赤崎弘平
技術委員長	宮内 泰
指揮者	山田 稔
パートリーダー T1	宮内 泰
T2	新栄一郎
B1	白井 清貴
B2	辻秀郎
ピアニスト	今道 隆夫
	石幸 千照

## 祝 第19回 南澪会合唱団演奏会

全学同窓会「大阪市立大学同窓会」会長 児玉隆夫(理院S43)

有恒会(文系学部同窓会)会長 尾山 基(商S49)

理学部同窓会会長 市村彰男(理院S46)

工学部同窓会会長 木村雅之(工S51)

医学部同窓会会長 生野弘道(医S44)

生活科学部同窓会会長 岸本幸臣(生S38)

看護系同窓会会長 白田久美子(看S44)

創造都市研究科同窓会会長 喜多繁幸(創院H24)



# 第19回 南澪会合唱団 演奏会

ーンセンター ホール

14年11月29日(土)

場／午後1時15分

演／午後2時

グラム

テージ

・シャンティ～海の男の歌」

テージ

の合唱のためのヒットメドレー「HANA」

テージ

合唱曲「わたしの願い」

正郎／作曲・高野喜久雄／作詞・須賀敬一／編曲

券：¥1,000(全席自由)

会場 新潟市中央区天溝橋

